



万燈通信

太田市立休泊中学校

学校通信 第8号

令和7年11月6日

『あいさつ、清掃、ボランティア』を進んで行う休泊中学生徒

『喜奏天雅～宇宙まで届け僕らの歌声！』

今年度の合唱コンクールスローガンは『喜奏天雅～宇宙まで届け僕らの歌声』。このスローガンに込められている「みんなで楽しんで音を奏でたい」「天まで届くように自分たちの歌声を届けよう！」という思いを実現することのできた、すばらしい合唱コンクールを10月30日に実施することができました。

特に1年生は、「明るく、素直に、迷ったら行動」と学年スローガンに掲げられているとおり、初めての合唱コンクールにも関わらず行動力を生かして積極的に練習に励んできた成果を発揮し、明るさと素直さが歌声にも表れているすばらしい合唱となっていました。

また2年生は、仲間と「響き」を大切にしながら気持ちをそろえていこうと熱心に練習に励んでいる生徒の姿が見られていましたが、コンクール当日も「これからは2年生が中心となって休泊中学校をよりよいものにしていくなだ」といった意気込みが、多くの生徒の歌声から伝わってきました。

そして3年生。校舎の2階に『一曲入魂』と書かれたスローガンが掲示されていますが、まさに一人一人が魂を込めた感動的な合唱でした。また3年生についてはコンクール当日の合唱もすばらしかったのですが、練習でも先生や周りの人に言われてではなく、一人一人が合唱コンクールに対してどのように臨むのかという事を自分で考え、そして行動していました。何事に対しても自ら進んで全力で取り組む事のできる3年生の姿勢は、休泊中学校の誇りであります。

一方、今年度は新たな試みとして「休泊中フェスティバル」を実施し、10組35名の生徒が参加してくれました。どの生徒も個性を生かした素敵な発表をしており、フェスティバルを盛り上げてくれていました。

そして、合唱コンクール実行委員や生徒会本部、看板やプログラムの表紙作成をしてくれた美術部など、多くの生徒が合唱コンクールを陰で支えていました。

合唱コンクールを通して「仲間との絆を深めることの大切さ」「目標に向けて仲間と共に切磋琢磨することの大切さ」「繰り返し練習に取り組みながら表現力を高めていくことの大切さ」など、生徒たちはたくさんの事を学ぶことができたのではないかと思います。

「合唱コンクール実行委員の声」

- 合唱コンクールは「楽しかった」「面白かった」の一言で片付けられないような、多くのことを感じた大濃密な1日でした。各クラスの合唱では、生徒1人1人が1つの目的に向かって協力する姿に強く感動しました。「協力する」ということが、どれだけ大きな力を生み出すのかなど、多くの学びをくれた合唱コンクールは、僕にとって最高の思い出になったと思います。〔実行委員長：〇〇〇〇〕
- 「マジ最高」合唱コンを終わって私が一番最初に思った事がこの言葉です。本番当日までワクワクと緊張にずっと襲われていましたが、当日、皆のスマイルが目に見え、私も自然とハッピーになることができました。実行委員としての裏方の仕事はあっという間でした。私にとって、最後で最高の思い出になりました。〔副実行委員長：〇〇〇〇〕

〔合唱コンクールの結果について(敬称略)〕

- 【1年】最優秀賞：A組、優秀賞：D組
敢闘賞：B組、C組
最優秀指揮者賞：〇〇〇〇
最優秀伴奏者賞・特別賞：〇〇〇〇
- 【2年】最優秀賞：D組、優秀賞：A組
敢闘賞：B組、C組
最優秀指揮者賞：〇〇〇〇
最優秀伴奏者賞：〇〇〇〇
特別賞：〇〇〇〇
- 【3年】最優秀賞：A組、優秀賞：C組
敢闘賞：B組、D組
最優秀指揮者賞：〇〇〇〇
最優秀伴奏者賞・特別賞：〇〇〇〇



太田市中体連駅伝競走大会に出場しました

10月4日（土）太田市運動公園陸上競技場において、駅伝競走大会が行われました。選手の皆さんは7月下旬から練習に励み、大会当日も練習の成果を発揮しようと全力で頑張っていました。惜しくも県大会出場とはなりませんが、ウォーミングアップや応援などの様子を見てみるとチームの雰囲気がとてもよく、これまでの2ヶ月半の苦しい練習を互いに励まし合いながら絆を深めてきた様子がうかがえました。選手の皆さん、たいへんお疲れ様でした。



「性教育講演会」を実施しました（10/9）

高崎健康福祉大学より桑原敦志教授と助産師さんをお招きして、3年生を対象とした性教育講演会を行いました。

『自分らしく生き、愛する人を大切にする～大人になる前に知っておきたい性のこと～』というテーマで、「生命の誕生」「月経」「LGBTQ」「避妊」について学習をしました。

生徒達には、SNS上などの誤った性情報に左右されず正しい知識を身に付け、相手の立場に立って行動できる大人へ成長してほしいと願っています。



【生徒の感想(一部抜粋)】

- ・男性の方たちに月経のことを知ってもらえて、先生にも話しやすくなったと思うし、生命が誕生する奇跡、ありがたさを学ぶことができました。大人になるにつれ、性についての知識は大事だと思うので、正しい判断ができるようにしたいと思います。
- ・性教育講演会で命の重要性を改めて理解できた。また、今、生きていること、生まれてきたことは当たり前ではないこともよく理解できた。そのため、産んでくれたお父さん、お母さんに感謝して、これからも自分の命、それから他人の命を大切に生きていこうと思った。
- ・性教育講演会で、私達の今ある命がどれほど奇跡なのかということや、性に関して少し危険な部分をよく知ることができました。今後、自分がそういう立場になった時に、今日学んだことをよく思い出して、しっかり理解のある素敵な男性を見つけます。
- ・講演会を聞いて、LGBTQについて深く考えるようになりました。世界にはたくさんの方がいて、もっと相手のことを認め合える世界になったらいいなと思いました。
- ・講習を受けて、今まで知らなかった事が分かり、他人の事について深く考えるようになりました。また、インターネットやSNSがある現代では、性に関する正しくない情報も多く、正しい情報を身につけることの大切さも学びました。
- ・知識があったりすることが「はずかしい」ことだと思っていたけれど、しっかりと知識を持たないと自分のことを守れないと知りました。誰でも将来経験する可能性があるあるので、しっかりとした行動をとれるようにしたいです。また、女性の方(助産師さん)が来てくれて、男子に月経のことを教えてくれたのでうれしかったです。
- ・性教育講演会で学んだことは、女子には月経というものがあり、4週間(28日間)のうち1回出血をしてしまうらしいです。それが原因でイライラしたり、気持ちが安定しない時があると言っていたので、優しく接してあげようと思いました。